

# 東日本・家族応援プロジェクト in むつ 2016

## 本州のてっぺん下北半島から 家族の笑顔を！

家族をテーマに漫画のパネル展示や、セミナーを開催します。

東日本大震災を経験し、私たちは皮肉にもあの日改めて「家族の絆」の大切さに気付かされました。このプロジェクトは立命館大学と協働し、毎年むつ市から始まり、岩手、宮城、福島の被災地へとキャラバンしています。むつ市は幸い大きな被害を免れました。そこで、少しでも元気な地域から被災地家族を応援しようという思いを込めて、サブタイトルは「本州のてっぺん下北半島から家族の笑顔を！」とし2020年まで続けます。今年で6回目になります。是非ともお誘いあわせのうえお越しください。

＜共催＞立命館大学大学院応用人間科学研究科・むつ市・むつ市連合PTA  
下北地域県民局地域健康福祉部福祉こども総室（青森県むつ児童相談所）

参加費  
無料

- ※ 団士郎漫画展 8月15日（月）～9月4日（日） むつ市立図書館  
8月25日（木）休館日を除く
- ※ 支援者支援セミナー 9月2日（金）13:30～16:00 むつ市役所大会議室  
民生委員・教育・福祉関係者対象（申込み：市町村及び児童相談所）
- ※ お父さん応援セミナー 9月2日（金）18:30～20:00 むつ市中央公民館  
子育て中のお父さんほか、男性に限る！
- ※ 団士郎の漫画トーク 9月3日（土）10:30～12:00 むつ市立図書館  
どなたでも ※ 託児は事前申込みが必要です



# 講師・助言者のプロフィール

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授



## <団士郎> 団士郎の漫画トーク 講師

公立の児童相談機関心理職25年を経て独立。「仕事場 D・A・N」主宰。家族療法の実践をしながら、講演やワークショップを全国に展開。

漫画家でもあり、マンガ集団「ぼむ」同人、web雑誌「対人援助マガジン」編集長。2011年からむつ市を皮切りに家族漫画展を被災各県で継続的に開催。

漫画に描かれなかった物語をスライドショーに併せてお話しします。



## <村本邦子> 支援者支援セミナー 講師・助言者

1990年女性ライフサイクル研究所を設立。子育て支援や女性と子どものカウンセリング（とくに虐待やDV）に取り組む。東日本大震災後は毎年被災地を訪れ、被災した家族や女性の支援を行っている。本企画の中核的存在。

事例を通して、多様な支援者同士で知恵を出し合い家族支援を考えます。

## <中村正> お父さん応援セミナー 講師（支援者支援セミナー 助言者）

専攻は臨床社会学。男性学。男らしさの病理（暴力と攻撃性、離婚、非行や犯罪、アルコール依存症、働きすぎ、メンツの病など）に関心を持っている。イクメンの先駆者の経験から、子育ては「父、母、5対5」ではなく、「父、母、他人、3対3対4」と語る。「お父さん応援セミナー」（男性のみ）は、家族の中のお父さんの在り様、地域に貢献する男性像について考察します。



## <参加者の声：2015年アンケートより>

### ○団士郎家族漫画展

- ・心あたたまるものでした。家族のあり方、家族の中での自分について改めて考える機会になりました。
- ・生きるすべ、痛みや苦痛を理解し、相手の立場になってみるのも必要と考えさせられました。

### ○団士郎の漫画トーク

- ・団士郎さんの社会を深く見つめるまなざしを通して、私も様々な気持ちになることができました。
- ・深い内容の話だった。むつ市に居ながらにして、宝ものように素晴らしい本会を体験できるのに参加者が少なすぎる。むつ市の元気はここから変えていかないと。

### ○支援者支援セミナー

- ・ケース事例を通して、これから役立つ視点を改めて学びました。
- ・色々な機関の方とお話できる場で、いろんな見方、意見を聞くことができ勉強になりました。

### ○お父さん応援セミナー

- ・男同士ざっくばらんに話ができるのは、雰囲気的にも気分的にも心地よかった。
- ・父との関係はあんがい悪いものではないと感じた。

## <申込：問い合わせ先>

### ○青森県むつ児童相談所

電話 0175-23-5975

FAX 0175-23-5982

<申込方法> 電話又はFAXで以下の内容をお知らせください。①お名前 ②連絡先 ③参加セミナー名 ④託児利用の有無（託児の年齢・性別・特に気を付ける点等について伺いますので連絡先はお忘れなく）



今年もご来場の皆さまにマンガ文庫「木陰の物語」をプレゼントします。

